

令和5年第3回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議録

令和5年第3回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会が、令和5年9月26日、13時35分、小野農民研修センターに招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 その他

その他第1号 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

5 校長報告

6 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤羽	高志
教育長職務代理者	古厩	一
委員	小澤	晃
委員	小松	恵美
委員	竹澤	克彦

○ 説明のため出席した者

両小野中学校長	上條	勝利
こども教育部長	太田	文和
こども教育部次長 (教育総務課長)	熊井	美恵子

○ 事務局職員出席者

教育総務課担当課長	五味	克敏
家庭支援課長	植野	敦司
教育総務課課長補佐 (学校運営係長)	六井	雄三
教育総務課課長補佐 (学校支援係長)	小松	義宏
教育総務課教育企画係長	佐藤	智樹

○ 本日の会議に付した議事

会議日程に記載のとおり

1 開 会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。本日はお忙しいところ、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

昨日の夕方ですけれども、塩尻市交通安全標語コンクールの表彰式がありまして、最優秀賞が「わたるときピシッと手をあげ意思表示」、広丘小学校6年生の作品です。「ピシッと手をあげ」というところに、皆さん、たくさん票が集まりました。

秋の交通安全運動が21日から30日まで行われています。その中で大きく3つ、全国では、子どもと高齢者など歩行者の安全確保、夕暮れどきと夜間の交通事故防止、自転車のヘルメット着用と交通ルール順守の徹底というのが挙げられています。日ごとに日没が早まってきて、運転していても、部活が終わった子たちも暗闇にいると人が分からないというような、確認できないような、そんな時間になってきます。運転手は早めのヘッドライトの点灯。歩行者は、自分がここにいるのだというようなことを反射板等でしっかりアピールすることがとても大事だと思います。

それでは、これより令和5年第3回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会を開会いたします。よろしくをお願いします。

2 前回会議録の承認

赤羽教育長 それでは、2番、前回会議録の承認について、事務局からお願いします。

瀧沢教育総務課教育企画係 前回、第2回教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に署名をいただきますので、よろしくをお願いします。以上です。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

赤羽教育長 お願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 続きまして、3番、教育長報告に入ります。

私からは1点だけですが、報告したいと思います。一番心に残った出来事であります。保健福祉センター市民交流室において、塩尻市「平和祈念のつどい」が8月12日、4年ぶりに開催されました。市の広島平和教育研修に参加した市内中学校6校代表の12名が、進行役と研修報告会等を行いました。また、公民館事業からは、前広丘公民館長と安藤中央公民館主事による「大陸の花嫁と石の鐘の物語」という講演が行われました。百何十名という多くの方がこの会場に集まりました。

塩尻市では、今年度4年ぶりに、薄れゆく戦争の傷跡をたどる中で、戦争の現実を見つめ、平和の尊さを実感し、次の世代へと継承していくために、市内6中学校12名の代表者を広

島市に送って、8月5日、6日に平和教育研修を行いました。今まで300名を超える生徒たちが広島市を訪れております。

1日目ですが、広島市役所で、全国から集まった14団体の代表者による広島青少年平和のつどい学習会、それから、平和記念公園にて折り鶴の奉納、そして、平和記念資料館見学を行いました。

広島青少年平和のつどい学習会は、広島市にあります中高生ピースクラブメンバー、みんな若者ですが、会場進行を全て行いました。当日、会議の進行、原爆投下による被害などの説明を行ったり、笹岡さんという被爆体験者の講話。そして、2つのテーマがありまして、「あなたにとって平和って何」、もう1つは「なぜ核兵器があるのですか」、この2つのテーマを集まった人たちに提案して、200名以上の参加者が10人くらいずつのグループになりまして、グループディスカッションと、それを全体会でグループごと発表が行われました。

平和教育研修の様子を代表生徒が記した報告書からお伝えしたいと思います。塩尻中学校の生徒の報告書からです。

被爆体験講話の笹岡貞江さんは、原爆で両親を失いました。たった1発の原爆で街は爆心地から2キロメートルの範囲が焼け野原になりました。広島に流れる7つの川には死体がいっぱい浮かんでいたそうです。貞江さんの父は真っ黒な状態で見つかりました。父が亡くなって兄と火葬したとき、貞江さんは幽霊を見たそうです。「まだ生きたい」と言っているようだとおっしゃっていました。貞江さんは最後に言いました。「今後の世界の平和を担っていくのは君たちだ」と。この言葉が僕の心に深く響きました。その後のグループディスカッションは、この言葉を頭の片隅に入れながら話し合えた気がします。

平和研修2日目は、朝6時35分にホテルを出発して、広島市平和祈念式に参列しました。大きな白色のテントが用意されていて、自治体席に座って開会式を待ちました。日陰でも湿度が高く、私もいたのですが、全身から汗が噴き出てきました。式典では、松井広島市長による平和宣言、小学校6年生2名代表による平和の誓い、岸田総理大臣などによる挨拶などが行われました。6日、米軍による原爆投下から78年目の原爆の日を広島市で迎えた瞬間を塩尻市代表生徒12名は共有することができました。

両小野中学校の生徒の報告書からです。

広島平和記念式典で2名の小学生が宣言した平和への誓いを耳にしたでしょうか。「被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます」。これは、私たち若い世代全体で行っていくべきだと感じました。将来の平和を担っているのは私たちです。この研修を通して得た知識を一人でも多くの皆さんに伝えていきたいと思います。最後になりましたが、各中学校の代表者と共に学び合えたこと、このような貴重な機会を与えていただいたこと、大変感謝しております。本当にありがとうございました。と、報告書に記されていきました。

今回、教育長の私も生徒代表者と共に同行させていただきました。平和記念式典の子ども代表小学校6年生2名が、参列者およそ5万人と言われていいますその中で、堂々と平和への誓いを述べている、そのときでした。全身汗まみれの本市生徒たち全員の背筋はぴんと伸び、微動だせず、聞き入っている姿がありました。後ろの席に座っていた私たち3人の随行者は、生徒たちのその姿に気づきました。そして、塩尻市から片道およそ700キロメートル離れた広島市に、やる気みなぎる代表生徒を連れてくることができたことを、とてもうれしく誇り

に感じました。12名の代表者は、帰り頃になりますと、お互いの行動を思いやったりとか、違う学校同士の生徒で会話が弾み、情報交換に花が咲いていました。

間もなく文化祭であります。文化祭や廊下の展示コーナーなどを使って感想発表したり、平和が続いていく未来にするために、学んだことを自分の言葉で、ぜひ情報発信して行ってほしいということを強く思っております。

私からの報告は以上で終わりにします。報告に関しましての御質問、御意見、それから、先ほど辰野町の組合でありました委員の皆様のそれぞれの御意見等ありましたら、報告願いたいと思います。よろしく申し上げます。

小松委員 今の教育長のお話を伺っていて、若い子たちが次の世代に、戦争の恐ろしさとか、平和の尊さを伝えていかなければいけないということを心に誓ったというお話がありましたけれども、私はそういうことができたのかということ、今思ったわけです。本当にそういうことを感じて、次の世代に伝えていける子どもたちが育っていることがすばらしいと思います。

自分たちの世代がそれをするのができたのか。ただただ平和というものが普通のことであって、今ここでロシアとウクライナの戦争を目にして初めて、戦争というものはこういうものなのだということを改めて感じて。昔、祖父母とか父親とかから聞いた戦争の話がありましたけれども、それが自分の中では物語のようなもので、本当の恐ろしさというのを目にしたというのは、テレビの画像から、今のウクライナの状況とかで見たわけですがけれども、実際に自分が伝える何かがあったのかというと、平和の中でそれをしてこなかったところがあるのではないかと思った次第です。今、若い子どもたちが次の世代に、このことを伝えていかなければいけないと思ったことがすばらしいと感じました。

竹澤委員 時々、先ほども言葉が出たのですけれども、自己肯定感というのは何だろうと思って、自分でその言葉についてうまく説明できないので、きちんと自分で分かっていないのかなと思って。

例えば自分の子どもが、自己肯定感が低いと自分で思っていたとしても、何かすぐに高めてあげられるような手立てがないと思って。あとは、学校とかも関係があるのだろうかと思ったりもしたのです。というのは、先生たちは何年かで異動になってしまうのですけれど、例えば両小野小中学校が、自己肯定感が低いという結果が続いているのだとしたら、地域性とかもあるのかなとか。難しいのかもしれない。すみません、うまく説明できなくて。

赤羽委員長 自己肯定感って、いつも人と比べているときに、何というか自分は。

竹澤委員 まだまだだな、と思うようなことなのだとしたら、それは悪いことだけではないと思って、まだまだ自分はまだできるはずだとか、努力につなげる方向に行けばいいのかなと。低いから悪いだけでもないのかなとったりしました。

赤羽委員長 小澤委員、自己肯定感とか、竹澤委員が悩まれているということだけれど、今の言葉にヒントがあると思うのですけれど、何か感じられたこと。あと、先ほどの文化財の話もこれにつながっていくのかなと、私は思って聞いていましたけれども、文化継承とか。

小澤委員 自己肯定感というのは私のイメージで、別に辞書を引いたりしたわけではないのだけれども、自己肯定感というのは、やる気みたいな前向きな前進的な、自信に裏打ちをされた、そういうような気持ちなのかなと。意外と小野の子どもたちは、私の感覚かもしれないけれど、皆さん、どうぞどうぞとやっているような感じに見えるのです。俺が俺がと出るの

ではなくて、これは地域性かもしれないけれど、皆さん、どうぞどうぞとやるもので、みんな同じような感じで、先に出るくいは打たれるではないけれど、出ていくと生活がしにくくなってしまうと。生活というか生きにくい。

竹澤委員 閉鎖的な感じ。

小澤委員 閉鎖的な感じのところもあるのかなという気がして。それで、私は大リーグが好きなもので、大谷翔平さんという人は、自己肯定感の塊のような方かなと思ったりして、どのようにして育ってきたのかというようなところも知りたいと思っていますのだけれども、そんな形です。

赤羽委員長 強みとか弱みとか、それが自分で分かるというのは、私はとても大事だと思うのです。

古厩教育長職務代理者 さっきも言ったように、自己肯定感だとか自立だとか何とか、人間関係の中で自分がどういうふう生きられるか。だから、これは家庭教育がどうのこうのとか、そういうことよりも。私は最後、中学校校長だったとき生坂にいたのですが、そのときに言われたのは、保育園、小学校、中学校の9年間ずっと一貫した人間関係が変わらないと言ったら、ある人が言いました。生まれる前から運命づけられている人間関係の中に生きています。そういう意味での狭い、それを打破しようとしてやったのが、さっき小学校の先生からも紹介されましたことですけれども、先生が教えるのではなくて、仲間です。やはり、劇的に変わりました。でも、これは学校教育の中でも、全部というわけにはいかないですけれども、相当変えることができると私は信じています。

竹澤委員 あと、もう1点。自分が今まで仕事をやってきたやり方を変えるというのは、なかなか難しいのですけれども、先生たちも教える教え方を変えるのは難しい。その教え方というのは、先生はどこで確立したのだろうか。教育実習なのか、大学時代なのかとか。あと、例えば、自分が小中高と過ごしてきて、こういう先生の教え方は分かりやすかったから、自分もそういう教え方してみようとか。そういうのはどこで決まるのだろうかと思って。

例えば、教えなくてはいけない決まりが多分あると思うのですけれども、その教え方自体は自由で、最低限押さえなくてはいけないところを守っていれば、教え方は自由なのか。それとも、教え方そのものまで決まっているのかというのが、先生をやったことがないので分からないのですけれども。どういうときに決まるのか。

赤羽委員長 一つ言えることは、教える気持ちでやってはいけないのかなということです。子どもも既習概念というのは少ないのですけれども、様々な経験の中で自分がかみ取っていきますね。子どもを信じて、その中で、一人でも誰かがヒントを見つけたら、それはどうやって考えたのと聞くと、教師の話よりもその子の話をみんな聞くのです。急に静かになって。

そんな瞬間って、きっと教師をやっているとみんな分かると思うのですけれども。私が教えてやるという意識は、当然、今の若い先生は持っていないと思うし、多くの先生は持っていないと思うのですが。45分で教えなくてはいけないとか、1対全で教えるとか。だから、細かいグループをつくったりとか、先ほど小柳津校長先生が言われたけれど、みんなでグループで集まってアイデアを出し合うとか、様々な学びがあるのかなと。

ほかに、よろしいでしょうか。何かありますか。次に行ってよろしいでしょうか。

それでは、次に行きたいと思います。

4 その他

○その他第1号 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

赤羽教育長 4番、その他になります。その他第1号、塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について進みたいと思います。

○議案第1号 令和4年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計歳入歳出決算認定について

赤羽教育長 初めに、決算案件の議案第1号、令和4年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計歳入歳出決算認定について、資料を用意していただきまして、事務局から説明をお願いいたします。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） それでは、組合議会議案資料の2ページを御覧ください。歳入決算額は、前年度対比6.5%減の1億2,418万2,827円、歳出決算額は、前年度対比10.8%減の1億101万6,864円、歳入歳出差引額の2,316万5,963円から、翌年度へ繰り越すべき財源45万円を除いた実質収支は2,271万5,963円となりました。

決算の詳細につきましては、一般会計歳入歳出決算書を御覧ください。決算書の6ページ、7ページからお願いいたします。それでは、科目順に沿って主なものについて御説明いたします。初めに歳出でございます。

1款分担金及び負担金につきましては、7ページ右側、備考欄に記載の塩尻市、辰野町それぞれの負担金でございます。内訳は、塩尻市が5,729万9,000円、辰野町が4,015万6,000円でございます。塩尻市分には、管理市に交付されている交付税相当分とアントレプレナー学習分が加算されております。小中一貫教育分は2分の1ずつ、生徒割分は在籍する人数による按分となっております。

3款国庫支出金につきましては、毎年交付されます特別支援教育就学奨励費及び理科教育設備整備事業への国庫補助金と、学校保健特別対策事業費補助金、こちらは繰越しでございますが、新型コロナウイルス感染対策として購入した消耗品等に係る国庫補助金でございます。

4款県支出金につきましては、部活動指導員任用事業補助金で、部活動顧問の教員に代わり、練習の指導や大会への引率など、生徒たちを指導する部活動指導員の報酬に係る補助金でございます。

8ページ、9ページを御覧ください。7款諸収入につきましては、雑入のうち一番大きなものは、平成25年度から公会計化いたしました給食費592万円余で、現年度分の収納率は98.84%となっております。

続きまして、歳出をお願いいたします。10ページ、11ページを御覧ください。1款議会費につきましては、議員報酬等を支出いたしました。

2款総務費につきましては、組合の運営に係る基本的経費で、主に正副組合長、公平委員、監査委員の報酬等、経費を支出いたしました。

3款教育費につきましては、両小野中学校の運営に関する経費でございます。

1項教育総務費につきましては、主に教育委員の報酬や教育委員会事務局の運営に係る諸経費、学校施設管理に係る経費を支出いたしました。

2項中学校費1目学校管理費につきましては、中学校の管理運営に係る経費でございます。

13 ページの中学校管理諸経費は、学力講師や支援介助員等の会計年度任用職員報酬のほか、15 ページに記載してございます学校管理に使用する消耗品、燃料費、電力使用料、上下水道使用料などの光熱水費、施設点検などの各種検査の委託料、また、外国語指導助手配置事業委託料につきましては、民間の委託事業者から外国語指導助手の派遣に係る経費を支出いたしました。

16 ページ、17 ページを御覧ください。中学校施設改善事業につきましては、校舎等の経常的な改修、修繕等に関する経費で、令和4年度は、特別支援学級数の増加に伴い、空調設備が未設置の教室に新たに設置することにより、教育環境の向上を図りました。

中学校補助交付金につきましては、学校が行う校外活動などの特別行事等への交付金で、部活動、学校支援ボランティア活動等に対して交付をいたしました。

特色ある教育活動事業につきましては、学校が主体性を持って創意工夫をし、実施する事業に交付金を交付するもので、生きる力を育む交付金とアントレプレナー学習交付金を交付しております。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地域行事が中止となりましたが、日本土真ん中ウォークへの参画や紅葉山の下草刈り等、アントレプレナー学習による地域参画、地域貢献活動などを行いました。

中学校管理諸経費（繰越）につきましては、学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消毒液等の保健衛生用品や感染防止用の備品等を購入いたしました。財源は、補助率2分の1の国庫補助金を活用しております。

2目教育振興費の、教育振興諸経費 につきましては、両小野学園の学校運営協議会委員報酬のほか、授業で使用する消耗品、教材備品、図書購入費等を支出いたしました。

教育振興扶助費につきましては、経済的理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に対して、学用品、校外活動費等を支給いたしました。

中学校情報教育推進費につきましては、パソコン等、中学校に配置している情報機器等の維持管理とICTを活用した学習活動に関する経費を支出いたしました。

新学習指導要領対応事業につきましては、令和3年度の学習指導要領改訂に対応した教師用の指導書や教科書等で、令和4年度の教職員の異動や生徒数の増に伴う不足分を購入しております。

小中一貫教育推進費につきましては、平成27年4月から開始したコミュニティ・スクールの取組を推進するための経費で、会計年度任用職員として、学校支援コーディネーター1人を配置しております。地域連携活動において、学校支援コーディネーターが、多忙な教職員に代わって地域の皆様との対話を進めることで、充実した活動が実施できており、教職員の働き方改革にもつながっているものと感じております。

GIGAスクール推進事業につきましては、GIGAスクール構想の実現に向けた学習活動の一層の充実と主体的、対話的で深い学びの視点から授業改善を支援するため、塩尻市振興公社KADOのICT支援員を学校に派遣し、教職員や学校の状況に応じた支援を行いました。また、生徒がタブレット端末を文房具としていつでも活用できるように、朝の活動でタブレット端末を活用する取組も市内全校で開始をいたしました。

18 ページ、19 ページを御覧ください。3目給食施設費につきましては、直営による自校方式の給食提供に係る経費で、19 ページの上から2つ目の、給食運営事業諸経費につきましては、主に会計年度任用職員の給食調理員の報酬のほか、調理に係る燃料費、各種委託料、食

材費である給食費などが主な支出でございます。

4款公債費につきましては、これまでの大規模工事等で借りました組合債の償還金、元金と利子でございます。

5款予備費につきましては、執行はございませんでした。私からの説明は以上でございます。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から、この議案に対しまして質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次に進みたいと思います。

○議案第2号 教育委員会委員の任命について

赤羽教育長 続いて、人事案件、議案第2号、教育委員会委員の任命について、事務局から説明をお願いいたします。

熊井こども教育部次長(教育総務課長) それでは、組合議会議案の4ページを御覧ください。提案理由につきましては、教育委員会委員の任命について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意をお願いするものでございます。

概要でございますが、教育委員4人のうち、古厩一氏が、令和5年10月21日に任期満了となることに伴い、新たに、両角東平氏を適任者と認め、任命しようとするものでございます。略歴書につきましては5ページに記載してございますので、御確認をお願いいたします。説明は以上でございます。

赤羽教育長 それでは、この議案に対しまして質疑等ございますでしょうか。

ないようですので、議案につきましては、本日より予定されております議会へ上程されるということで御承知おきください。

5 校長報告

赤羽教育長 続いて、5番、校長報告に入ります。上條校長、よろしく申し上げます。

上條両小野中学校長 着座にて失礼いたします。資料が配られていますが、最初に「小野おんばしら」、結構前になるのですけれども、前回の組合教育委員会では、修学旅行でパンフレットを配ったりだとか、グラウンドに鯉のぼりを地域の方に寄附していただいて泳がせたというような報告をしましたけれども、実際、5月の三連休のところで、小野神社、矢彦神社、または地区センターのところで子どもたちが活躍をしている写真がありましたので、大きくして見てもらえたらと思って載せました。

2番、霧訪祭です。今週の金曜日、9月29日ですけれども、第70回の霧訪祭が行われます。そのときのパンフレットをそこに載せてありますが、パンフレットの2枚目のところです。ステージ発表と真ん中のところにあるのですけれども、本校は中国から2年生と3年生に男子の生徒がいるのですが、来たときはほとんど日本語がしゃべれなかったあの2人が、日本語の指導を受けて日本語でステージ発表をします。とても進歩している2人ですので、ぜひとも多くの方に見ていただければと思います。

そのページの右側のところに、校内展示とありますけれども、昨年度までやっていなかった職員展示を今年から復活をさせました。先生方のいろいろな、普段見られないようなものが展示されるのではないかと思いますけれども、私も展示しますので、ぜひとも、私の意外

な姿を見ていただければと思います。

小学校のところでも出ていましたけれども、10月9日、ミュージックフェスタが行われます。そのときのパンフレットもやっと出来上がりましたので、見ていただきたいと思います。めくっていただいて、第一部が両小野学園音楽会になりますけれども、2番には、小野保育園、北小野保育園の年長さんが来て、ステージで歌を歌ってもらいます。5番は、両小野小学校の全校で2曲歌ってもらったり、また、6番ですけれども、PTAや小学校、中学校の先生方を含めてPTA合唱も取り組みます。指揮者も伴奏者も保護者の方にやっていただきます。

このような第一部に続き、めくっていただいて、第二部の吹奏楽部ですけれども、人数の少ない部員ですけれども、今年頑張った曲を披露し、3番のところ、一緒にやりませんかという声かけをして、たくさんの方が一緒にバンドを組んで発表するところもありますので、ここもお薦めのところですよ。

第三部ですけれども、学校だけで記念事業をするのではなくて、地域の方々も一緒になってという思いがありまして、今年は、先ほども最初に言いましたけれども、小野おんばしらがありませんので、その木遣りと太鼓を演奏していただいたり、2番、3番については、地域の方々の中でフルートやギターやリコーダー等、すばらしい演奏をされる方がいらっしやいますので、そういった方にも演奏をしていただいたり。4番ですが、うとうが本校のキャラクターになっているのですけれども、うとうの歌を作ろうということもずっとやってきて、私よりも3代前の高山雪先生に作曲をしていただいて、曲ができました。そのお披露目もここでしたいと思います。5番ですけれども、私よりも2代前の岩下史弥先生が波田少年少女合唱団で指導されているのですけれども、ゲスト出演ということで、参加していただきます。5曲披露していただき、最後、合唱団と本校生徒と一緒に「ほらね、」を歌って、音楽会が終わるという内容になります。

10月9日は祝日ですので、ぜひとも多くの方々にレザンホールに来ていただいて、一緒に70周年を祝っていただければ幸いです。次のところには、実際に高山先生が作ってくださった曲がありますので、得意な方はピアノ等で弾いていただければと思います。

次に、小6登校ですけれども、今年も10月27日金曜日から11月9日木曜日まで9日間、小学校6年生が本校に来て2週間過ごします。中身については詳しく説明はしませんが、中学生とのいい交流ができればと思います。

5番、これについては資料がありませんが、今、中学校では部活動の地域移行ということが盛んに言われていて、塩尻市でもいろいろな会議が開かれて、私もそこに参加しているわけですけれども、本校については、今年度から日課を変更して、今まで月・火・木・金については下校が16時30分だったのが16時、水曜日は清掃もなくして15時下校だったのが14時30分という形で、下校を30分早めています。もし拠点校とか、そういったところに生徒が移動するときに、30分あれば塩尻の中心に行って、その生徒と同じ開始時刻から練習ができるのではないかとということで、変更して準備をしています。

この日課の変更で、先生方もどうしても今までは、夏場だと平日2時間の練習をすると18時30分まで学校に勤務しなければいけないので、そこからいろいろな教材研究だとかしなければいけないのですけれども、たった30分ですが、先生方に余裕ができて、働き方改革にもつながっていくのではないかと考えています。

あと、どうしても生徒数が少なくって、本校独自で単独チームでは大会には参加できずに、合同チームという形になっています。それを何とか解決したいと思って、小学生が中学校の部活動に参加できないかということは今考えています。いい方法を見つけてできたらと思います。

次に、放課後学習会ですけれども、これも、私が両小野中学校に来てやりたかったことの1つがやっとならできるようになったものになります。コロナでできなかった部分もあるのですが、水曜日の15時から16時30分のところで、1年生から3年生まで希望する者が学校に残り、みんなで一緒に学年の枠を外れて学習をするということを今月から始めています。

大きな中学校では、3年生が進路に向けて、こういう取組をしていると思うのですが、本校は小さい学校ですので、3年生だけではなくて、1年生から一緒に勉強したいと、または3年生に教えてもらいたいと思うような生徒が学習を進めるというものになります。20日に行ったのですが、20名くらい残ってやっていました。どんどん増えていけばいいなと思っています。

あと2点、そこには書いていないことですが、本校の学びについてですが、昨年度から作り始めている両小野中学びのスタンダードに従って、先生方は授業を進めていて、今までなかなかできなかった授業の終わりの部分で、しっかりまとめをするということに今年度から力を入れております。特に、ロイロノートというものを使って授業を進めている先生が多いので、そのところで、子どもたちが今日分かったこと、分からなかったことについてしっかり記録を残すという形で、それを先生方が見て、次の授業に生かしていくことをしています。

ただ、小学校はロイロノートを使っていないですね。塩尻市内は小学校もロイロノートを使ってやってきているので、本校にとってみれば、小学生もロイロノートを使って学習をしてきてくれるとスムーズにつながるのではないかと思いますので、ここは辰野町のほうに、できればお願いをしたいところであります。

あと、8月3日ですが、市民タイムスの本社で、中信地区で社会貢献活動を推進する、小さな親切運動松本支部から実行章というものを贈呈していただきました。先ほどから話が出ていました紅葉山の下草刈りや植樹などをずっと続けているということを認めていただきました。今年度、この実行章は1個人と7団体。7団体の中には学校が含まれていますが、本校のほかに松本筑摩高校、松本市立大野川小中学校、安曇野市立堀金小学校などが贈呈されていますが、本校も日頃から地域貢献していることを認めていただいたということで、大変うれしく思っています。

最後のところについているのは、本校の学校日より、順番が間違っていて、No. 1からにはなっていませんけれども、学校の様子が出ていますので、お時間があるときに見ていただければと思います。私からは以上です。

赤羽教育長 校長先生、ありがとうございました。時間が押していますので、質問等はカットさせていただきます。

6 その他

赤羽教育長 その他、事務局から連絡ございますか。事務局からお願いします。

瀧沢教育総務課教育企画係 次回の教育委員会は、令和6年3月22日を予定しております。
2月下旬に開催通知を送付いたしますので、委員の皆様の御出席をお願いいたします。以上
です。

7 閉会

赤羽教育長 それでは、以上をもちまして、本日の教育委員会を閉会いたします。お疲れさま
でございました。ありがとうございました。

○ 午後14時20分に閉会する。

以上

塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議規則第17条第2項の規定により署名する。

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員

教育総務課教育企画係
